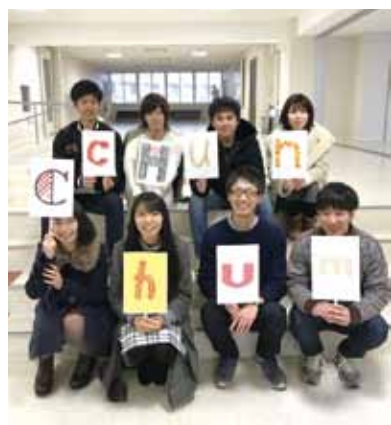




CHUN CHUM

ちゅんちゅん

福井の今ちゅんちゅんなアイテムたち、
福井大学生が紹介します。

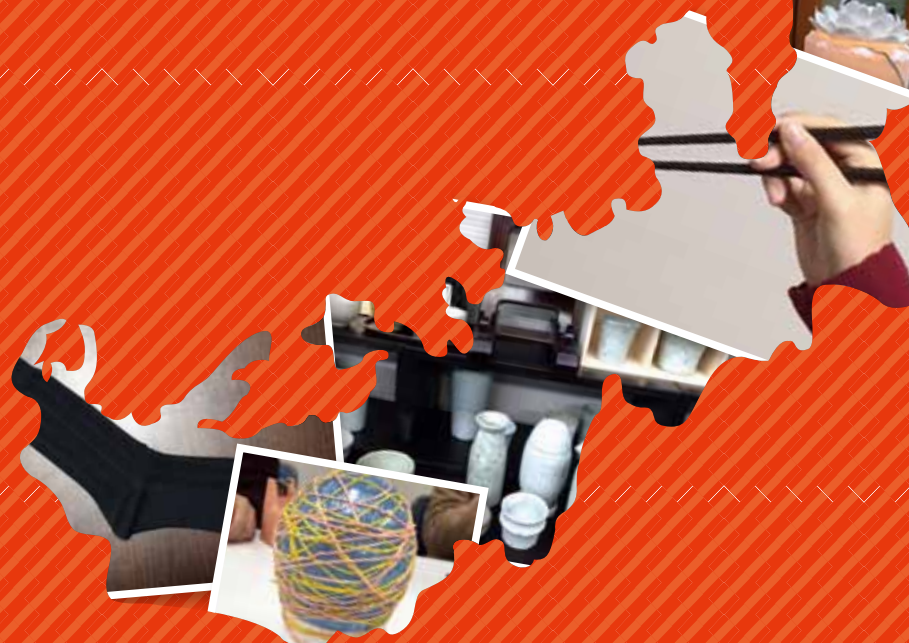


制作 / 福井大学 教育地域科学部
地域科学課程 公共政策系
経済(まちづくり)ゼミ

名前 / 上田裕也、大久保佳輝、川上昂太、
後藤佑美、竹内柚葉、藤田昌稔、
松山可伶、山本理羽

連絡先 / 0776-27-8446(木村研究室)

発行日 / 平成29年3月



これが新しい
福井だ!

♥ はじめに ♥

2016年4月末、福井駅前に新しく開業した商業施設「ハピリン」をあなたはご存じですか？私たちはこの施設に興味を持ち、実際に何ががあるのかを確かめるために、さっそく訪れました。

するとそこには、福井県の伝統的な産業を生かしリメイクされた商品が沢山並んでいました。あるものは色合いを変え、またあるものは形を変え、どれも現代の生活に馴染むように工夫を凝らされたものばかり。私たちはすっかり魅入られてしまいました。

越前和紙や漆器を代表とする国指定の7つの伝統工芸や、眼鏡や繊維など近代以降発展してきた地場産業は、どれも誇るべき福井県の技術です。福井県民は長年、こういったものづくりに親しみ支えられた生活を送ってきました。

しかし近年、特に若者を中心に、こういったものづくりに関心がない、知らないという人が増えています。

こんなにカッコよくて便利な「もの」たちなのに、

知らないなんて勿体無い！

づくり手の皆さんも魅力的な方々ばかり！

福井県のものづくりを多くの人々に伝えていきたい！

そんな思いを持った大学生8人でつくったのがこの冊子です。

皆さんにも是非、福井の魅力を知って色んな「もの」を手にとっていただけたら、と思います。

Chunchum とは

「ちゅんちゅん」は福井弁で「熱い」という意味。ここでは、福井のものづくりに携わる人々の情熱を表現しています。

織 維

全国シェアの7割以上を占める「絹・人絹織物精練・漂白・染色」(H26年)をはじめ、福井県は繊維業においてもいくつかの品目で全国トップクラス！

福井県の伝統的工芸品

1. 越前漆器
2. 越前和紙
3. 若狭めのう細工
4. 若狭塗
5. 越前打刃物
6. 越前焼
7. 越前筆筥

眼 鏡

福井県鯖江市は眼鏡の聖地です。
眼鏡フレームの国内生産シェアは
なんと約**96.7%**(平成26年)！

♥ 目次 ♥

- 02 …… 序章
- 04 …… TSUGI(アクセサリー)
- 05 …… 乾レンズ(風鈴)
- 06 …… アトラス(靴下)
- 07 …… 五十嵐製紙(照明器具)
- 08 …… 福井窯業(笏谷石)
- 09 …… 福井洋傘(傘)
- 10 …… ヤマト工芸(インテリア)
- 11 …… 丸山久右衛門(漆器)
- 12 …… 作ってみた・使ってみた
- 14 …… 福井に描く希望像
- 15 …… 編集後記

メガネ

×

TSUGI

=

アクセサリ

Before



100年以上の歴史を持つ福井の地場産業である眼鏡の廃材

After



眼鏡素材の特徴を生かしたかわいらしいアクセサリに
価格:4,800円(税別)

この商品は2017年2月現在
ハビリンでは取り扱われて
おりません。

メガネ

×

乾レンズ

=

風鈴

Before



After



風水母:これらすべて石本さんの手作りである
価格:3,500円(税別)

福井を『創造産地』にする

新山 直広 さん

自己ブランドSurのアクセサリづくりだけでなく、「SAVA!STORE」を品川や名古屋などで開催し、福井の面白いものを知ってもらおう活動をしている。

TSUGI llc.

〒916-1222 福井県鯖江市河和田町 19-8
TEL 0778-65-0048 HP <http://tsugilab.com/>

Profile

年齢 / 31 歳
出身 / 大阪府
趣味 / 猫をめぐる事



Q この会社を始めたきっかけは何ですか？

A 鯖江には素晴らしい技術があるのに、あまり売れていないのは売り方に問題があると考え、「売ることまで考えたデザイナーになる」ため、立ち上げました。

Q Surのアクセサリの特徴は何ですか？

A 軽く、透明感があり、肌に優しい眼鏡の廃材を利用しています。眼鏡の素材というより、まずはかわいらしさを手に取ってもらえるような商品です。

Q 期間限定の「SAVA!STORE」*1は何を目的に開催されているのですか？

A 「SAVA!STORE」でのお客様の年代、売り上げ、お客さんに言われたことなどをレポートにまとめ出品してくれた人に伝え商品開発につなげるためです。

Q これから福井をどうしていきたいですか？

A 考えるメーカー、魅力あるメーカーを増やすことを通じ、福井にもおしゃれなものがあると知り、訪れる人、住みたいと思う人を増やしたいです。



「風水母」をきっかけに福井を革新へと導く

左: 諸井 晴彦さん & 右: 石本 秀亀さん

昭和28年創立。サングラスレンズ専門メーカー。オールタイムサングラス*1を中心に、ブランド物のサングラスレンズや、風鈴風水母等を製作している。

株式会社 乾レンズ

〒916-0019 福井県鯖江市丸山町 1-3-31
TEL 0778-51-5447 HP <http://www.inuilens.com/kojin/>

Q 風水母を作ることになったきっかけは何ですか？

A 石本さんは元タクリエイトスリー（眼鏡枠製造業）に在籍していた。新規事業として眼鏡枠の技術を生かしチタンの箸を製造することになり、たまたまチタンの箸を落とした時にいい音がしたことがきっかけで、この音を何かに生かせないか考え始めた。こうして現在の乾レンズで風鈴「風水母」の生産が始まった。

Q 風水母にどのような思いを込めていますか？

A 福井がものづくりの町になるといいと思っている。

Q 将来的に福井をどのようにしたいですか？

A 鯖江にものづくりの学校を作りたい。そこで鯖江の眼鏡フレームの技術を学んだ学生が、その技術をワークショップ等で全国に発信出来るようにしたい。

*1 オールタイムサングラス…目に有害であると認識されている紫外線を99%以上カット、さらに明るさを出来るだけ確保して眩しさをカットすることで目の負担を減らす。サングラスに見えず、いつでも気軽にかけることが出来る。



Profile

年齢 / 50 歳
出身 / 静岡県袋井市
特技 / 小さな出来事を、面白おかしくアレンジして伝えるところ。詐欺師かもしれません。

Profile

年齢 / 48 歳
(21 歳になって 28 年目)
出身 / 鯖江市
趣味 / ものづくり



石本さん手作りの「風水母」



*1

*1 「SAVA! STORE」…TSUGIが選んだ福井・鯖江の素敵なものが並ぶショップ。ecute品川や名古屋/バルコで開かれている。

和紙

×

アトラス

＝

靴下



越前和紙の起源は4～5世紀頃。明治新政府の「太政官金札用紙」にも越前和紙が使われた。現在でも美術紙、書画用紙、襖紙など用途は広い。



和紙繊維を生かした靴下
商品名:「和紙糸の靴下 越之和紙」 価格:1,950円(税別)

この商品は2017年2月現在
パピリンでは取り扱われて
おりません。

和紙

×

五十嵐製紙

＝

照明器具



越前和紙は1500年の伝統を誇る。会社の近くには始祖神・川上御前をまつる岡太神社が。



五十嵐製紙の和紙は全て手漉き。継ぎ目のない球状の照明もここだけの技。

- LED和紙あかり ミニ …… 3,000円
- 花のせ …… 15,000円
- 球体行燈 …… 8,000円 (全て税別)

“感動あるものづくり”で越前和紙を全国に

荒井 孝 さん

福井の和紙繊維商社。自然素材である和紙繊維を通じて人にやさしい心地よい商品を製造している。

株式会社 アトラス

〒911-0033 福井県勝山市栄町3丁目4番12号
TEL 0779-87-6886 HP <http://atorasu.jp.net/>

Profile

年齢 / 68歳
出身 / 京都府
趣味 / 読書、菜園



和紙の可能性は無限大

五十嵐 康三 さん

創業は大正8年で、現在3代目。「和紙あかり」だけでなく「和紙ガラス」も海を渡り世界中であらゆる空間を演出している。

株式会社 五十嵐製紙

〒915-0233 越前市岩本町12-14
TEL 0778-43-0267 HP www.wagamiya.com

Profile

年齢 / 68歳
出身 / 福井県
趣味 / 細かい手作業



Q 和紙で靴下を作ろうと思ったきっかけは？

A 幼少期のころ、祖父が刻みタバコ^{*1}を吸っていた。溜まったヤニを取り除くために、和紙をこより^{*2}にして、煙管の穴をきれいにしていた自身の経験と、金糸・銀糸^{*3}の製造工程からヒントを得て、和紙を糸にすることに成功したのが始まりだった。

Q どういう思いを込めて、和紙の靴下を作ろうと思いましたか？

A 「感動あるものづくり」をしたいと思った。そのため、メーカーからの委託ではなく、素材から新しいものを作りたいと思い、素材である糸に、福井が誇る越前和紙を生かして製品づくりをした。

Q 商品の特徴は？

A 防臭性があり、靴下の臭いを抑える。また、吸水性もあるので汗をかいても快適な履き心地を感じられる。

Q 商品を通じて、福井をどのようにしたいですか？

A 商品名を「和紙糸の靴下 越之和紙」として、福井が越前和紙の産地であることや、越前和紙の良さを、全国に広めていきたい。

メンズだけでなくレディース商品もあり、さらに色や形もさまざまで種類豊富！



和紙レディース
5本靴下



和紙レディース
2本靴下



和紙メンズ靴下
(リンクス柄・ストライプ柄)

*1 葉タバコを細かく刻んだもの。煙管(キセル)に詰めて吸う。きざみ(参照:『大辞林第三版』三省堂)。
*2 和紙を細長く切ってよりをかけ、糸のようにしたもの(参照:『日本大百科全書(ニッポニカ)』小学館)。
*3 金、銀または金色、銀色の金属の箔(はく)を和紙に張り、これを細長く裁断して綿糸、絹糸などに巻きつけたもの(参照:『百科事典マイペディア』株式会社日立ソリューションズ・クリエイト)。

Q 「和紙あかり」を作ったきっかけは何ですか？

A 他ではできない、特化したものを作りたいと考え、12、3年前から作っています。生まれた時から家族の紙漉きを見ていたため当然のごとく家業に従事しました。

Q 和紙の良さは何ですか？

A 世界に誇れる日本の紙で日本の文化を支えてきた和紙は、美しさ・やわらかさ等の魅力を持ちまた実に様々な利用法を持つところも。

Q 「和紙あかり」の特徴を教えてください。

A 「拡散和紙」という光をよく透過する和紙を使用(2016年9月特許取得済)。これにより明るくやわらかい光を魅せられます。他にも継ぎ目をなくしたり花などの模様を入れたりと独自の技法を用いて作っています。

Q これから福井をどうしていきたいですか？

A 全国的に知名度が低い福井県だが、天然素材の和紙で美しい品々を作り出し、伝統文化の真髄を国内外に発信したいと思っています。



季節の植物など、色とりどりの模様が漉き込まれたあかりに心をませせて。

しゃく だに いし
笏谷石



よう ぎょう
福井窯業



食器



蘇生笏谷石 福井の輝き

近藤 登幹夫 さん

昭和10年創業。一般住宅から大型施設まで屋根工事では日本海側最大級の実績を誇っている。

福井窯業株式会社

〒910-0018 福井県福井市田原 2-20-17
TEL 0776-23-0790 HP <http://www.skdst.com/>

Profile

年齢/秘密
出身/福井県
趣味/スキー、山登り



Q ふくいブルーを始めたきっかけは何ですか？

A 1500年前に継体天皇が発見し、古くから家の基礎などに使われてきた。現在採掘できなくなったために、人々から忘れられている笏谷石を次の世代に残すために、食器としてよみがえらせた。

Q 笏谷石の良さは何ですか？

A 保湿性、保冷性、軽さ、優しい手触り。水で濡らすと、染み込んで石が青くなり、色の変化を楽しめる。

Q これから福井をどうしていきたいですか？

A 福井のいいものを世界へ広めたい。現在、北陸新幹線福井開業を見据えて、笏谷石を新幹線内で生かしてもらえないか奮闘中！

右の卵は、福井が新しく生まれるという意味を込めて作った。



夫婦湯呑セット 価格:20,000円(税別)



卵 価格:(大)7,500円(税別) (小)5,000円(税別)

繊維



福井洋傘



蛇の目傘



〈蛇の目傘〉
伝統ある蛇の目傘を現代風にアレンジ。永平寺御用達。価格:33,000円(税別)

福井を傘の一大産地に

橋本 肇 さん

蛇の目傘やヌレンザをはじめ、機能性、デザイン性の高い商品を提供している傘製造販売会社。傘デザインコンテストといったような企画なども開いている。

株式会社 福井洋傘

〒910-3134 福井県福井市浜別所町 4-4-2
TEL 0776-85-1114 HP <http://www.fukuiyogasa.com/>

Profile

年齢/55歳
出身/福井県福井市
特技/変わった発想力



Q この会社を始めたきっかけは何ですか？

A 父が福井県の農業委員をしており冬場に農家の仕事がなくなるため、仕事を生み出そうと、県下で企業誘致をしていた。粟地区には傘会社が誘致されることになったが、実際は下請け業務で、橋本さんの父が社長として下請け会社を誘致することになった。しかし平成になると下請けの受注が減少していった。廃業寸前になり、橋本肇さんが会社を再建しようと、元々働いていた会社を辞めて福井洋傘で働くことになった。独自の生産・販売ルートを開拓、経営難を救った。傘の文化をつたえていこうと邁進している。

Q 福井洋傘さんのつくる傘の特徴は？

A 体の不自由な方など、多くの方々に長く使って頂ける創意工夫を施した傘を作っている。例えば、オリジナルのユニバーサルデザインの持ち手や炭素繊維で軽量かつ強度のある、骨数の多い傘骨など。また、壊れにくい傘のため、生地を張り替えたりするだけで親、子、孫の三代にわたり使用し続けることができることも思い出としても残る。

Q これから福井をどうしていきたいですか？

A 他県に行ったときに福井は傘の産地だと胸を張れるようにしたい。福井を傘の産地、聖地にしたい。県外、さらには国外からもたくさんの方に福井に来ていただけるようにしたい。



〈ヌレンザ〉
ハスの葉のように水滴をはじく超撥水の傘。価格:29,000円(税別)



漆器

×

ヤマト工芸

＝

インテリア



Before



After

W CUBE(ダストボックス)
価格:4,286円(税別)ティッシュケース
価格:4,000円(税別)

ダストボックスは「マツコの知らない世界」でも取り上げられ、中のゴミ箱に袋をかぶせ、上に外ぶたをかぶせることで袋が見えなくなる。

漆器

×

丸山久右衛門

＝

ワインクーラー



Before



After

約1500年前に始まったといわれる越前漆器
黒色や赤色に金色の模様入りの椀や膳

金ぼかしワインクーラー
価格:8,000円(税別)

漆で人とモノを創りあげる

高野 利明 さん

昭和33年創業。日常的な家具やインテリア雑貨を作り、木地の裁断から組立～塗装、販売まで全ての工程を自社で行っている。

株式会社 ヤマト工芸

〒916-1224 福井県鯖江市跡生田町 19-40
TEL 0778-65-1158 HP http://yamatokougei.com/free_9_6.html

Profile

年齢 / 70 歳
出身 / 福井県鯖江市
趣味 / スキー、ゴルフ、
畑、似顔絵描き



世界中に届けたい塗り物の温かみ

丸山 寿郎 さん

日本の伝統工芸品『越前漆器』の産地メーカー。
現代の暮らしの中にも自然と溶け込むようなデザイン。

株式会社 丸山久右衛門商店

〒916-1222 福井県鯖江市河和田町 21-4
TEL 0778-65-0011 HP <http://www.qemon.co.jp>

Profile

年齢 / 59 歳
出身 / 福井県
趣味 / 旅行と食べること



Q ダストボックスやティッシュケースを作ることになったきっかけは何ですか？

A お得意様が倒産してしまったため新しい商品の開発に挑戦し、それを東京ギフトショーに出展したところ入賞したので本格的に作り始めた。

Q これらの製品（ダストボックス・スマホスタンドなど）を通して福井をどうしていきたいですか？

A 福井＝ものづくりの町である。しかし福井からアジアにもものづくりの技術が流れてしまった。今は箸、漆器、和紙、打刃物、眼鏡で協力して福井＝ものづくりという認識を持ってもらうためにがんばっている。これらの製品もそう感じてもらうための一つにしたい。

Q 地場産業全体を見ると後継者不足といった問題があげられますが、貴社には多くの若手社員がいらっしゃいます。今後若手社員の方々にはどのような職人になってほしいですか？

A ものづくりを通じて若手が夢を持ち人生を謳歌しながら社会貢献や自分の仕事ができる大人になってもらいたい。



ヤマト工芸の企業理念

Q この会社を始めたきっかけは何ですか？

A 先代から引き継ぎました。担ぎ商いからはじまり、宮内庁御用達の仕事に携わりようになり現在で9代目、300年以上続く歴史のある会社です。

Q 漆器の良さは何ですか？

A 保温力！超軽量！抗菌！さらに粉々に割れないので復元もでき地震に強いところ。大量消費の時代だからこそコツコツ手作業で作られた漆器に良さがあります。

Q ワインクーラーを作ることになったきっかけは何ですか？

A 結露しないワインクーラーが作れないか…という話がきっかけで漆器のワインクーラーを作ることになりました。シルバーやゴールドを使うことによりモダンで涼しげに仕上がりました。

Q これから福井をどうしていきたいですか？

A 世界に PR できるように国外への漆器販売路線をつくり、福井をどんどん発信していきたいです。



作ってみた 使ってみた

ここまで色々な会社・ものを紹介してきました。
ここでは私たちが実際に触れて感じた福井の伝統的工芸品のよさをお伝えします。

今回は5つの商品を作って・使ってみました。

わしまる [乾レンズ]



乾レンズが製造している「どれみふぁ風水母(かぜくらげ)」の傘の部分を作ってみるキット(価格500円(税別))です。パピーちゃん、ルースちゃん、カンキチくんの三種類があり、その中から一つを選んで作ります。



① 風船の準備

風船を直径6~7cmほどにふくらませます。ふくらんだ風船を筒の上に置き、ラップをかぶせます。ラップの上から、風船の根元とラップの端を輪ゴムで止めて固定します。

② 和紙ひもを巻き付ける

のりを風船全体に塗って、和紙ひもを巻き付けていきます。途中でさらにのりを塗りながら、隙間を埋めるように巻いていきます。和紙ひもが完全に乾いたら、中の風船を割り、ラップとともに取り出します。出来た土台に目やりボン、髪の毛などをボンドで貼り付けて完成です。



作ってみて…

●わしまるの完成図を見たときは作るのが難しそうだったけど、実際に作ってみて思っていたよりもうまく作れた。あまり見ないようなデザインなので、インテリアとして活用でき、部屋に一個あるといいと思った。(川上)

●色々コツが必要なのでちょっと難しい。時間がある時にじっくり作るべし。人によって出来上がりが違うので、何人かでやると楽しい。色を交換したり、リボンや髪の毛などのパーツを加えたりすることで自分だけの作品になる。

(後藤)

W CUBE ダストボックス&ティッシュケース [株]ヤマト工芸



ダストボックスは、袋を掛けた本体に上からカバーをかぶせることで袋が見えなくなるので、インテリアとして見栄えのいい商品です。またティッシュケースは横に小物を入れる場所もあるためとても便利なモノです。どちらの商品ともものづくりの工夫がありその工夫も消費者のニーズに応じて使いやすく、お部屋に一つあるだけで雰囲気が違ってくると思います。

(上田・川上)

和紙靴下 [アトラス]

自然素材を原料としている和紙繊維から作られた(和紙)靴下です。

化学素材製品よりも吸水性、防臭性、抗菌性、保温性、防湿性などが優れています。メンズ、レディースともにシンプルなデザインでスーツ等によく合います。足にフィットして履き心地がよく、長時間履いてもむれにくいので、仕事や就職活動などに便利です。夏は汗をかいてもさらさらしていて、冬は保温性がありあたたかいので、季節を問わず活躍する靴下です。

(藤田)

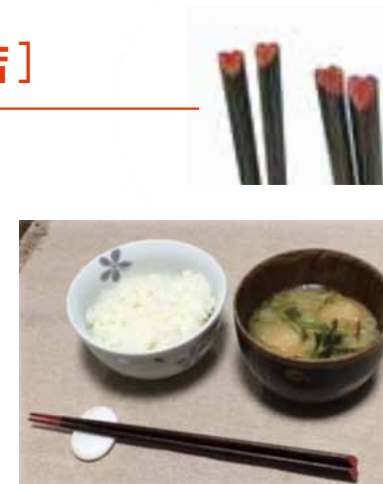


ハート箸 [丸山久右衛門商店]

木地に漆をしみこませてふきとってという作業を10回以上繰り返してできるハート型の漆塗り箸(価格1,500円(税別))です。木地をはじめすべて天然素材でできています。

箸の持ち代が三角形なので転がりにくく手にフィットして使いやすいです。軽くて可愛いので毎日使っています。女性用にさくら色・洗朱、男性用に若草色・黒の4色あります。2膳セットでも販売しているので、結婚祝い等にもオススメです。

(竹内)



福井に描く希望像

編集後記

TSUGI llc.

福井を創造産地にしたい。福井にもおしゃれなものがあると知り、福井を訪れる人が増えてほしい。

株式会社 丸山久右衛門商店

世界にPRできるように販売路線を作り福井を発信していきたい。

株式会社 アトラス

越前和紙の良さや福井が産地であることを広めたい。

福井窯業株式会社

笏谷石を後世に残したい。「福井ブルー」として世界に広めたい。

株式会社 五十嵐製紙

福井は知名度が低いので、和紙を通して福井を盛り上げていきたい。

株式会社乾レンズ

福井が「ものづくりのまち」になったらいいと思う。また次世代を担う若者に技術を教えるものづくりの学校を作りたい。

株式会社 ヤマト工芸

ものづくりを通して若者が夢を持ち人生を謳歌しながら社会貢献ができるような福井にしたい。

株式会社 福井洋傘

福井洋傘の作る傘をきっかけに福井を傘の産地として認識してもらい、最終的には傘村を作りたい。

今回の冊子作成にあたって、8つの会社に訪問させていただきました。お話をしてくださった皆さんは、それぞれに福井や福井の産業に対して、ちゅんちゅんな（熱い）思いを抱き、ものづくりをなさっていました。

そこで、ここでは「福井に描く希望像」と題し、皆さんのちゅんちゅんな思いを集め、紹介します。

“福井愛”をもって、ものづくりをなさっている方々の思いに触れ、少しでも福井に対して、ちゅんちゅんな思いをもっていただけると嬉しいです！

ふくいのちゅんちゅんなものをくわしく知ることができ、私自身いっそう福井が好きになりました。あと、製作者の思いの詰まった商品をぜひつかって、新しい福井を皆さんに感じていただければと思います！！

川上

福井出身ですが、福井にこんな素晴らしい技術があることを知らず、この冊子づくりで驚かされることの連続でした。皆さんにも福井の技術をたくさん知って驚いてほしいです！

松山

活動を通じて、みなさんの熱い思いを肌で感じることができました！将来自分も、みなさんのように熱い思いで何かに取り組めるような人間になりたいです！

山本

福井県は一見無いです。みんな自分のちゅんちゅんを発掘しよう。

大久保



福井にある素晴らしいモノ、素晴らしい人を知ることができ、福井もすてきなものではないなと思いました。この冊子をとってもらった人達もそう思ってくれたら幸いです。

上田

作り手の皆さんがそれぞれの商品について誇らしげに語る姿を見て、ものづくりが好きだという気持ちをとても感じました。

後藤

福井の産業を支えている皆さんの姿はキラキラしてかっこいいです。そんな方々の魅力と熱い思いをお伝えしたいと思い冊子づくりに励みました。冊子づくりを通して福井の新たな一面を知ることができてとても楽しかったです。

竹内

今回の活動から福井独自のものを活かした企業が数多くあるとわかりました！福井県内の方も県外の方も是非知っていただければと思います。

藤田